

# 雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌  
平成28年 6月 6日 発行  
発行者 豊科病院広報文化委員会  
〒399-8205  
長野県安曇野市豊科5777-1  
URL <http://www.shironishi.or.jp/>

## 豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。



の雰囲気  
が良  
けれ  
ば、そ  
れが利  
用者へ  
のよい  
ケアや  
サービス  
に繋が  
る。所  
長と

去る4月1日、平成28年度の  
新年度式が開催されました。  
関健 総長理事長より、今年  
度の法人の方針について職員に  
訓示し、続いて併設の老人保健  
施設安曇野メディアの所長に就  
任した医師塚田昌滋所長より挨拶  
がありました。  
塚田所長は 現場のケアにお  
いて、良いケアをするには、職員  
の働きやすい職場環境が必要。  
職員が働きやすく、そして職場

## 平成28年度 新年度式

して、そのような職場作りにも臨  
みたい。」と職員へ伝えました。  
併設の老人保健施設に常勤の  
医師が着任したことは、当院と  
しても大変強いことです。今後  
は、これまで以上に老人保健施設  
安曇野メディアと連携し、医療か  
ら介護まで、包括的なサービス  
を提供し、地域の皆様が安心して  
利用しやすい医療機関を目指し  
ていきたいと思えます。



安曇野メディア 塚田所長

## 五味洲病院長のついでやま

わたくしは今回病  
気になり、患者の皆  
様職員の皆さん、そ  
して安曇野赤十字病



院の皆様に変な迷惑をお掛け  
し、また、お世話になりました。深く  
感謝しております。

一病息災とよく言いますが、わた  
くしの場合は「二病息災」で生活す  
ることになりました。昔は仕事を一  
生懸命やれば良かったのですが、現  
代は医者自身も健康に気を付けて  
患者さんに不安を与えないように  
しなければならぬと悟りました。

明治生まれの親から、仕事は1  
番で、自分は2番だ。」と教育され  
てきました。が、あんまり我慢強いこ  
とは考へもので、痛みがあるときは素  
直に反応して、必要な時は素直に受  
診する必要性を悟りました。

例え持核があつても、40歳以降に  
下血があつた場合、大腸ファイバー  
をやるよう教科書に書いてありま  
すが、教科書の通りにした方が良  
いのです。今後は仕事ばかりやらずに、

自分の健康にも気を付けるよう  
にします。

さて、補足になるけど、サッカー  
のプレミアリーグ（イギリス）でレ  
スターが優勝したね。レスターの  
岡崎は5点しか得点を入れていな  
いけど、岡崎は8割スタメンで出場  
したことは、非常に立派。特筆すべ  
き出来事だね。

## 春の一斉清掃に参加

当院は安曇  
野市の春の一  
斉清掃に毎年  
参加していま  
す。今年は業  
務の都合上、  
5月27日に参  
加させていた  
だきました。



清掃の範囲は、国道147号の  
新田の交差点から、田沢街道と当  
院から八十二銀行までの道路で、  
草刈りやゴミ空き缶拾いを中心  
に清掃を行いました。

## 関連施設だより

グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘は、入居されているメ  
ンバーさんが幹事となり、春の小旅行、夏の暑気払い、秋の小旅行、  
そして冬の忘年会、という4つの行事を毎年行っています。

今年の春の小旅行は、長野方面に決まり、幹事さん2名が行程を  
企画され、5月21日に、グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘  
合同の日帰りの小旅行へ行ってきました。

目的地は恐竜公園と茶臼山動物園です。午前中に安曇野市を出  
発し、国道19号線を北上。信州新町の道の駅で休憩し、お昼頃、恐  
竜公園に到着し、皆で長野盆地を眺めながらお弁当を食べまし  
た。

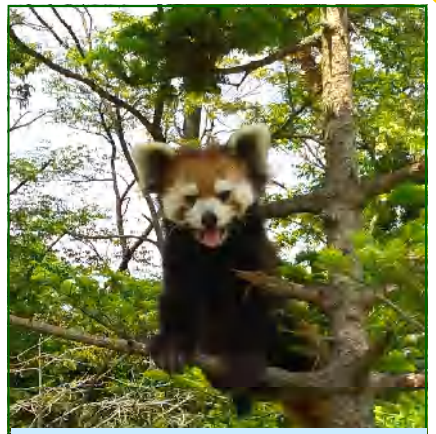
恐竜公園は、リアルな実物大の恐竜が公園内のいたるところに  
鎮座しており、公園内の遊歩道があるきながら、色々な恐竜を見  
ることが出来ます。しかし、公園は山の斜面にあり、遊歩道は思  
のほか急勾配!! 参加されたメンバーの皆さんは、息を切らしながら、ま  
た日々の運動不足(?)を感じながら、公園を登り切りました。

恐竜公園からは、  
モノレール(写真参  
照)に乗って茶臼山動  
物園へ移動します。  
この日は、気温が32  
℃まで達していたの  
で、急勾配を物とも  
せず登り、更にエアコ  
ンが効いているモノ  
レールは、メンバーさ  
んも同行した職員



長野盆地を一望できるモノレール





こちらを見つめるレッサーパンダ

も天国』に感じました。モノレールは短距離ながら、長野盆地が一望できるため、お勧めです。

そして、モノレールを降りてすぐが茶臼山動物園です。平日ということもあり、動物園内は大変空いており、レッサーパンダもゆつくりじっくり見ることができました。アジアゾウのフーズは、昭和58年から同園にいらしているのですが、鼻を伸ばしてリズムをとり、私たちに何かアピールをしていました。

今回、安曇野から比較的近い場所への小旅行でしたが、メンバーの皆さんは日常と違う体験をされ、大変充実した1日となったようです。

なお、障害者手帳を所持されてい

る方は、モノレールの利用料も茶臼山動物園の入園料も無料となります。手帳所持者1名につき同行者1名も無料。皆さんも一度行かれてみてはいかがでしょう。

## 心の癒し(29)

### 「てっばく」

「てっばく」とは、さいたま市大宮区にある鉄道博物館のことで、今年で開館9周年を迎えます。

広い館内には実物の鉄道車両が所狭しと並べられています。このうちた

いへん貴重な車両は普通の博物館のように見るだけの



山手線205系シミュレータ



D51に挑戦!(手前は係員)

飲食まで可能な車両も…。

実物の運転台を使用した運転シミュレータが何台か設置されており、常に行列が絶えません。中でも一番の目玉はD51シミュレータ。館内では数少ない追加料金が必要な装置ですが、1日最大27人しか体験できないこと、初心者には係員が付きっ切りで説明いただけること、そしてリアルな運転台振動音…それが500円なんて安い、安い!?

立地条件も最高で、屋上からは本物の新幹線、在来線の電車を見ることが出来ます。ここは多くの鉄道ファン

展示ですが、多くの車両には実際に乗ってみることができ、中には車内で休憩どころか

にとつてまさに聖地なのですが、館内が鉄ちゃんに埋め尽くされているかといえば、そんなことはありません。鉄道の知識が豊富な方もそうでない方もそれなりに、思い思いに楽しむことができる。そんな度量の深さが昨年入館者数800万人を突破した「てっばく」最大の魅力ではないかと思えます。



車内で飲食可能な「あずさ」と「かいじ」

今春、JR西日本が運営する京都鉄道博

物館がオープンしました。こちらへも近い将来に訪れてみたいものです。

鉄道に乗ること、見ることも、博物館に行くこと…これらが私の心の癒しです。ちなみに私は鉄ちゃんではありません。(^^)



屋上から見える北陸新幹線

### 外来よりお知らせ

内科外来は、下表のとおり担当医と診療する曜日が変更になりました。なお、金曜日は、第2、第4週のみ診察となりますので、ご注意ください。

精神科外来は当面の間、木曜日は休診となります。内科、精神科とも午後は休診です。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

## 外来 医師担当表

平成28年 6月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつなり 五味 洸 満徳 医師	休 診	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつなり 五味 洸 満徳 医師
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	まちだ りょうすけ 町田 良亮 医師 第1・3・5木曜日  にしざわ みちこ 西澤 理子 医師 第2・4木曜日	きのた ふみや 木野田 文也 医師 第2・第4金曜日	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。  
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第42号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？

去る6月5日、関東甲信越も梅雨入りが発表されました。ジメジメや蒸し暑さにしばらく悩まされる季節ですね。そして食中毒のはやる季節でもあります。みなさんは「食中毒予防の三原則」というをご存知ですか？①清潔(手や調理器具の清潔を保つ)②迅速(調理後できるだけ早く食べる)③温度(適切な加熱・冷却などの温度管理)と言われていいます。色や臭いが変わっていても食中毒になることがあります。食中毒に気をつけて、この季節を乗り切りましょう。

### ※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。